

AGRI WORK POINT

アグリ

ワーク

ポイント

播種時のポイント

はしゆ

- ① 『宇部粒状培土』の使用
- ② 播種前にたっぷりかん水
- ③ 適正な播種量を守る

※1箱当たりの播種量は水稻栽培暦を確認

- ④ 機械を使い、できるだけ均一に
- ⑤ 土は種子が完全に隠れるまでかけて、その後のかん水は行わない

生育ステージごとの最適管理を

1. 出芽時の温度管理に注意

出芽温度が32℃を超えると高温障害や徒長苗の原因となる。

- ① 高温になりそうな好天日は、ビニールハウスやトンネル内の温度上昇を防ぐため、早めに換気をする

- ② 低温のときは、遮光資材を使わず、保温用シートをベタ掛けするなどハウスやトンネル内の温度管理に努める

- ③ 温度計は育苗箱のふちには置かず、必ず床土の温度を測れる場所に設置する

2. 適切な水管理

- ① 緑化期（1.5葉期）までは、1日1回午前中9時以降にかん水を行う

- ② 硬化期（1.5葉期以降）は、午前1回・午後1回（15時前）行う

※**夕方のかん水は、温度低下や夜間の呼吸を妨げるので避ける**

※曇りの日や雨の日は極力かん水を控え、床土が過湿状態にならないようにする



米づくりは苗半作!!

農業経営支援課 石田 哲也